



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

## 1. マーケット・レート

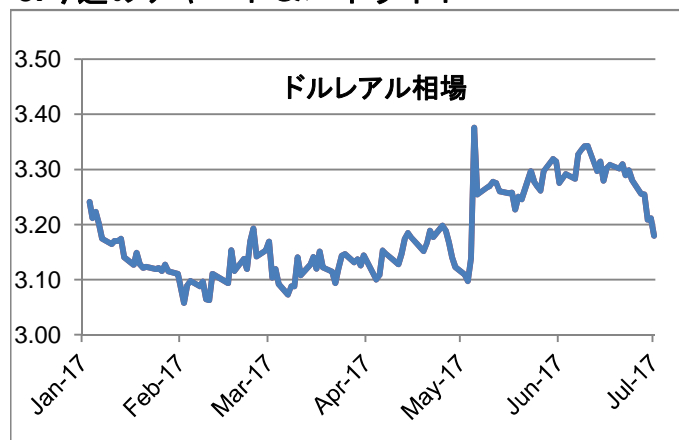
			7月10日	7月11日	7月12日	7月13日	7月14日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2560	3.2550	3.2080	3.2120	3.1800	-0.0320
	BRL/JPY	Spot	35.03	35.01	35.29	35.27	35.39	+0.12
	EUR/USD	Spot	1.1399	1.1466	1.1414	1.1399	1.1470	+0.0071
	USD/JPY	Spot	114.04	113.93	113.21	113.28	112.53	-0.75
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	8.76	8.74	8.67	8.66	8.62	-0.0361
	Future	1Year(p.a.)	8.59	8.56	8.49	8.50	8.44	-0.0646
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.079	2.104	2.134	2.125	2.174	+0.049
	USD	1Year(p.a.)	2.333	2.344	2.359	2.342	2.348	+0.006
株式	Bovespa指数		63,025.47	63,832.15	64,835.55	65,178.35	65,436.18	+257.83
CDS	CDS Brazil 5y		238.07	235.66	229.10	227.81	223.82	-3.99
商品	CRB指数		172.740	173.923	173.876	174.349	176.284	+1.936

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルはテメル大統領の汚職隠蔽疑惑が発生した5月18日以来の高値へ上昇。
- 週初のレアルは3.2790で寄り付いた。先週末の引け後、伯中銀がドル売りスワップポジションのロールオーバー再開を発表していたことから買いが先行し3.25台へ上昇。その後、政府による労働法改正案の上院可決や、経済改革に反対姿勢を取っているルラ元大統領への有罪判決を受け、改革進展への期待感から3.20台まで買われた。12日のイエレンFRB議長による議会証言が、インフレの伸びに関して懸念を示すなどややハト派の内容となったこともレアルの上昇をサポート。週末にかけては米消費者物価指数が予想を下回ったことで週間高値となる3.1800まで上昇し、そのまま高値圏で越週した。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.39%から0.34%へ下方修正、2018年は2.00%で据え置かれた。インフレ率予想は2017年が3.46%から3.38%へ、2018年は4.25%から4.24%へそれぞれ下方修正された。
- 10日、伯中銀はドル売りスワップポジションのロールオーバーを再開。金額は1日あたり4.15億ドル。このペースが続けば、当初61.8億ドルとなっていた今月末が期日のポジションは全てロールオーバーされ、期日到来に伴うドルの買戻しは発生しない。
- 12日、ルラ元大統領に収賄と資金洗浄の罪で禁錮9年6ヶ月の判決が下された。同氏は上訴する方針。有罪が確定すれば来年の大統領選には出馬できないが、上訴審には数ヶ月を要する見込み。同氏が次期大統領となる可能性が低下したことは経済改革の進展にプラスとの見方から、市場ではレアルやボベスパ指数が上昇した。
- 12日に発表された5月の伯広義小売売上は前月比▲0.7%と予想の+0.2%を大きく下回った。高い失業率や政治状況の不透明感を背景に、家計消費が抑制されていることが確認された。
- 伯下院の憲法法務委員会(CCJ)は13日、最高裁がテメル大統領の汚職疑惑について審理を開始する案を否決。マイヤ下院議長は、下院本会議での採決は議会の休会明けの8月2日になると発言した。

## 3. 今週のチャート&amp;ハイライト



## 労働法改正案が予想を上回る賛成票で上院可決

11日、企業活動の柔軟性向上に繋がる労働法改正案が上院本会議で可決された。賛成50票、反対26票と予想を上回る賛成票を獲得。同法案は既に下院で可決されており、テメル大統領は13日に署名を行った。署名から120日間で発効となる。これを受けて、議会からの支持低下によりテメル政権下での年金改革進展は困難とする見方がいくらか後退。改革に反対姿勢を取るルラ元大統領に有罪判決が下されたことも材料となり、改革進展への期待感が今週後半のレアル相場上昇を支えた。ボベスパ指数は5日続伸、伯国債の5年物CDSスプレッドは週間で約19bps縮小し、224bpsへ低下した。



## 4.来週の為替市場注目点

## 予想ドル・レアル相場レンジ：3.15－3.25

来週のレアルは方向感に乏しい動きを予想する。今週は国内の改革進展に対する期待感がレアルの上昇を牽引したが、8月以降に連邦検察庁がテメル大統領に対して追加の起訴を行う可能性が残る状況下、レアル買いの動きは一服することが見込まれる。一方、米国サイドもイエレンFRB議長の発言や弱い消費者物価指数などから低インフレ長期化への警戒感が高まっている。ドルの上値も重くなると見られる中、ドル・レアルは方向感に欠ける相場が見込まれる。来週は20日に7月伯インフレ率(IPCA-15)が発表される予定。前年比+2.86%まで低下すると予想されており、伯中銀の金融緩和をサポートするインフレ率の動向について内訳に注目したい。

## 5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	経済活動(前月比)	0.20%	-0.51%	0.28%
ブラジル	経済活動(前年比)	2.50%	1.40%	-1.75%
米	消費者物価指数(前月比)	0.1%	0.0%	-0.1%
米	CPI除食品・エネルギー(前月比)	0.2%	0.1%	0.1%
米	小売売上高速報(前月比)	0.1%	-0.2%	-0.3%
米	鉱工業生産(前月比)	0.3%	0.4%	0.0%
米	設備稼働率	76.8%	76.6%	76.6%
米	シカゴ大学消費者マインド	95.0	93.1	95.1

## 6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	7/17	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Jul	-0.90%	-0.62%
ブラジル	7/17	登録雇用創出合計	Jun	37779	34253
ブラジル	7/17	税収	Jun	101360m	97694m
米	7/17	ニューヨーク連銀製造業景気指数	Jul	15.0	19.8
米	7/18	輸入物価指数(前月比)	Jun	-0.2%	-0.3%
米	7/18	NAHB住宅市場指数	Jul	67	67
ブラジル	7/19	IGP-M Inflation 2nd Preview	Jul	-0.81%	-0.61%
ブラジル	7/19	CNI産業信頼感	Jul	--	51.9
米	7/19	住宅着工件数	Jun	1160k	1092k
ブラジル	7/20	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	Jul	-0.12%	0.16%
ブラジル	7/20	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	Jul	2.86%	3.52%
米	7/20	フィラデルフィア連銀景況	Jul	23.4	27.6
米	7/20	先行指数	Jun	0.4%	0.3%
ブラジル	7/21	経常収支	Jun	\$1200m	\$2884m
ブラジル	7/21	海外直接投資	Jun	\$2500m	\$2926m

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。